

小旅行

飄

々

広報委員

中村 享代

令和5年5月8日にコロナが5類に移行し、日常生活や旅行・娯楽など行動制限も解除され、今まで自粛していた旅行や友人との会食、観劇、スポーツ観戦などイベントを計画しようと楽しみにしていた。正月早々の能登半島地震、1月2日は日航機と海上保安庁の航空機の衝突事故、1月3日は私の地元である小倉駅前の飲食店街での大規模火災と、年初から立て続けに災害が続き重苦しいスタートになった。

そんな中、ニューヨーク・タイムズの2024年に訪れるべき52か所の3位に山口市が選ばれたとのニュースを目にし、明るい話題で気持ちが軽くなった。京都に比べると規模は小さいが歴史ある寺社や庭園や祭りがあり、食事・温泉などを観光客でゴった返すことなく堪能できるコンパクトシティという点が評価されたようだ。

周防・長門の守護となった24代当主大内弘世が以前訪れた京の高い文化や情緒に感銘を受け憧れを抱き、京の都に模した街づくりをするため京都盆地に似た山口に本拠を移して街を縦横に区画し街路名を大路・小路と京風に整備したのが西の京と言われる所以である。歴代当主も約200年間にわたり弘世にならい街づくりを行ない繁栄し、大内文化として歴史的建造物や文化や食が現在に継承されている。

恥ずかしながら私は山口県（下関市）に居住して今年で20年になるが、用事で山口市に行くことはあっても、観光名所を訪れたことがなかった。遅ればせながら、国宝の瑠璃光寺五重塔を訪れてみた。残念ながら令和の大改修のため足場が組まれシートで覆われており実物を見ることがで

きなかったが、高さ31.2mと巨大な建造物であり、大内氏の権力を垣間見ることができた。屋根は檜皮葺^{ひわだぶき}という檜の樹皮を何枚も重ねて綴った台形の檜皮を用いた屋根工法で作られており、このたびの改修工事は70年ぶりに全面葺き替え工事が行われている。改修工事で本来の姿が見ることができないのは残念だが、日本古来の貴重な文化財を次の世代へ引き継ぎ、文化財建造物の保存修理を支える伝統技術を継承するためにも必要な工事であり仕方がない。

瑠璃光寺五重塔は香山公園にあり池や庭園が整備され四季折々の景色を堪能できるため大改修が終わったらまた訪れようと思う。

観光のもう一つの楽しみは食であり、私も御多分に漏れず花より団子である。早速帰りに山口銘菓の外郎や舌鼓も購入し美味しくいただき、帰路に就いた。

山口県には山口市だけでなく風光明媚な自然や歴史ある建造物などの名所がまだまだたくさんある。遠くへの旅行もよいが、まずは日帰りで県内の名所に出かけ、見て・食べて・体験し自分の住んでいるところの良さを再発見しようと思った。

県下唯一の医書出版協会特約店

医学書専門 井上書店
看護学書〒755-8566 宇部市南小串2丁目3-1(山口大学医学部横)
TEL 0836(34)3424 FAX 0836(34)3090【ホームページアドレス】<http://www.mm-inoue.co.jp/mb>.
新刊の試覧・山銀の自動振替をご利用下さい。